



東京電力福島第一原発事故から6年がたとうとしています。福島県からの避難者は、福島県発表で84,000人(2016年11月現在)。多くの人たちがふるさとを失い苦しい避難生活を送っています。一方、現行の災害救助法に基づく住宅提供は2017年3月で打ち切れ、復興の掛け声のもとに帰還が進められています。

東電の救済と原発延命のために、国民や電力ユーザーからの費用負担の仕組みがつくられようとしている中、避難者の救済のためにはお金が使われていない実態があります。

海外に目を転じれば、日本からの原発輸出が予定されていた**ベトナム**では、国会議員の92%の賛同のもと、原発計画撤回が決まりました。一方で、核保有国で、核不拡散条約(NPT)にも核実験禁止条約(CTBT)にも加盟していない**インド**との間で原子力協定が締結され、原発輸出が進められようとしています。こうした情勢を分析しつつ、FoE Japanの報告会を行います。

2016年春、**ドイツに旅立った福島の若者も発言!** ぜひお誘いあわせの上、お越しください。

報告者: 吉田明子、満田夏花、矢野恵理子、深草亜悠美、福島の大学生

申し込み: 件名を「1.21 報告会参加」として、下記宛てに①ご氏名、②ご所属、③ご連絡先電話番号・E-mail アドレスをご連絡ください。

E-mail: info@foejapan.org ファックス: 03-6909-5986

主催: 国際環境 NGO FoE Japan (認定 NPO 法人)
〒173-0037 東京都板橋区小茂根 1-21-9

Tel: 03-6909-5983 Fax: 03-6909-5986

カンパ
歓迎

郵便振替口: 00130-2-68026 口座名: FoE Japan
通信欄に、「脱原発への寄付」とご明記の上、住所、氏名をお忘れなくご記入ください。

参加費
500円

なぜ
**ベトナムは
原発計画を撤回したのか?**

**福島原発
事故被害者のいま**

核なき世界に赤信号

日印原子力協定の問題点

いつきに報告!

**1.21
FoE Japan
報告会**

ストップ! 原発延命策
パワースフトキャンペーンの取り組みから

ドイツに旅立った
福島の若者たち

3.11から未来へ

2017年1月21日
13:45~16:30(開場/13:20)

文京区男女平等センター

(最寄り駅: 本郷三丁目 東京都文京区本郷 4-8-3)



FoE Japan